

## [037] 中国文学論集表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/13179>

---

出版情報：中国文学論集. 37, 2008-12-25. 九州大学中国文学会  
バージョン：  
権利関係：



## 編集後記

ここに『中国文学論集』第三十七号をお届けします。今回は十一篇の学術論文および調査報告を掲載しました。大学院在学中の若手や、今号にはじめて投稿の会員もあるなど、大変みずみずしい一冊となりました。これも平素より賜っている会員の皆様よりの数々のご高配のおかげであると感謝いたしております。

この場を借りて、もう一つご報告と御礼を申し上げます。二〇二〇年五月に本学会で編集出版した『わかりやすくおもしろい中国文学講義』が、本年三月を以てめでたく完売となりました（発行部数二〇〇〇部）。本書が学界および教育現場に果たした役割については、今後すこしずつ明らかになってゆくでしょうが、必ずや好い効果をもたらすものと信じています。序文を頂戴した岡村繁先生をはじめ、皆さんに再度御礼を申し上げます。次第です。

九州大学文学部は来年（二〇〇九年）六〇周年を迎えます。また、その前身の法文学部の創設（大正十三年、一九二四年）からは八十五周年となります。目加田誠先生をはじめ、当九大中文研究室を今日に導いてくださった多くの先生方、そして先輩方に改めて感謝を申し上げます。

なお、新しい動きもご報告します。本『中国文学論集』の既刊号（一九七〇年創刊）については、すでに残部僅少となった号もあり、このたび九州大学附属図書館のご好意で同館のホームページ上に電子掲載していただくことになりました。本年四月よりすでに掲載が開始されましたが、どうぞ皆様もご利用ください。

OIR（九州大学学術情報リポジトリ）<https://uir.kyushu-u.ac.jp/dspace/> へ。

現在、第三十五号までの情報が掲載されていますが、以後の刊行分も随時継続して掲載する予定です。

二〇〇九年四月、いよいよ六本松の旧教養部校区（現、言語文化研究院・比較社会文化研究院）が元岡の新キャンパスに移転いたします。なお本号に中里見敬、中尾友香梨両会員によって報告された濱一衛先生の旧蔵資料（瀆文庫）は、一旦、他の特別文庫とともに箱崎地区の中央図書館に移設、今後は中央図書館の管理の下に保存され、新キャンパス図書館への移送は、中央館の移転と同時に進行されることとなりました。本学および研究室の移転に関する情報は、今後も研究室ホームページ等に掲示してお知らせ致します。

（静永記）